

2017年3月

CONEXPO-CON/AGG 2017
国際建設機器見本市 米国仮設機材事情
仮設工業会視察団 参加報告レポート

フクムラ仮設株式会社
取締役部長 水嶋 浩之
リース事業部 西 昌志

<日程> 2017年3月6日(月)～3月12日(日) 7日間

3月6日 : 東京(成田) → サンフランシスコ → ラスベガス 市内視察
3月7日 : 国際建設機器見本市 (ラスベガス) 視察
3月8日 : ユネスコ世界遺産 グランドキャニオン 散策
3月9日 : ラスベガス→ロサンゼルス 市内視察
3月10日 : 仮設機材会社 訪問 ・ 稼働現場 視察
3月11日 : ロサンゼルス → 東京(成田) 帰国

<参加者>

・仮設工業会 2名 ・(株)ミルックス 3名 ・(株)カセツ商会 1名
・(株)新成工業 1名 ・讃高仮設リース(株) 1名 ・佐竹鉄工(株) 2名
・アルインコ(株) 2名 ・(株)サイト 2名 ・ジー・オー・ピー(株) 2名
・菅機械工業(株) 4名 ・アイチ信和(株) 2名 ・(株)アクトワンヤマイチ 2名
・(有)竹内建創 1名 ・(株)伊藤製作所 2名 ・(株)石原組 1名
・(株)錦江 1名 ・三伸機材(株) 1名 ・(株)ジャストビギン 1名
・フクムラ仮設(株) 2名
以上 33名 + 添乗員(ベストワールド)1名

<視察報告>

① ラスベガス ……砂漠の中の不夜城

人口 200万人。市制 1905年
90年代に入り(ギャンブル合法化 1931年)
ギャンブルの街から、家族ぐるみで楽しめる
エンターテイメントシティ へと変化後、大人向けの
高級総合エンターテイメントシティへと進化。

宿泊施設の急増が、コンベンションの誘致に拍車をかけており
世界一のコンベンション都市へと成長している。

砂漠性気候の為、雨が非常に少なく、湿度が異常に低い。
3月は、1日の寒暖差が激しく、朝晩の数℃から、日中24℃となる。
乾燥肌の方には、リップ・ハンドクリームが必須となる。

【 ベラッジオの噴水 】 …プログラミングが見事。 昼、夜 2回見物される人、多数有り



【 宿泊先 モンテカルロリゾート & カジノ 】 …全てのホテル1階に、カジノ有り



【 ホテル内にある カジノ 】 …連泊時、破産の可能性有り。 でも、夢を見るのも有り



② CONEXPO-CON/AGG
国際建設機器見本市

世界三大建機展 Baurna(ドイツ)
 Intermat(フランス)
 Conexpo(アメリカ合衆国)

1年ごとに順次開催される

【 安全 ・ 環境 ・ IT 】 全世界共通のキーワード

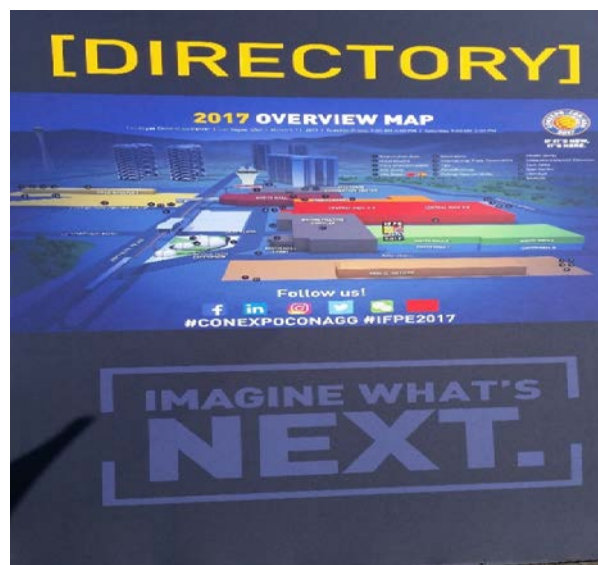


入門ID

中にICチップが内蔵されており、期間中は
市内を縦横に走るモノレールが無料となる

22万㎡の敷地に
2500社の展示ブース

延15万人の来場者が
見込まれる



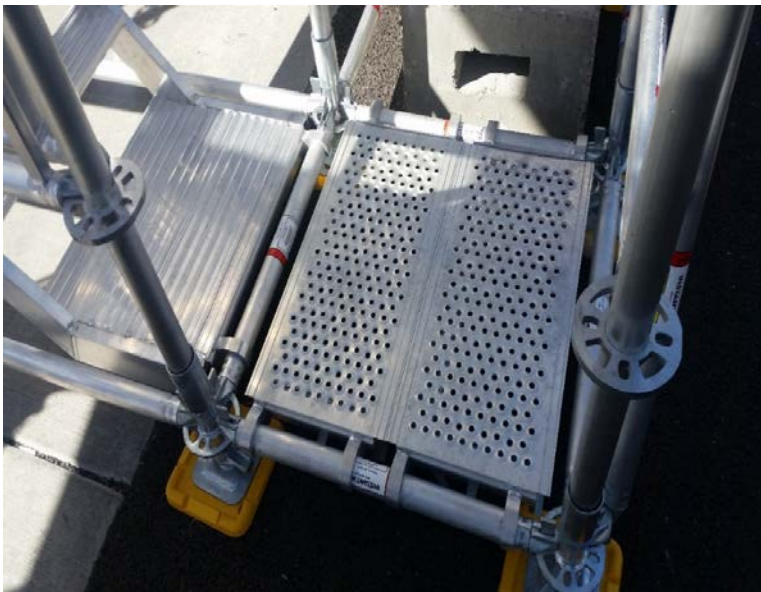
時差ボケをもろともせず、
宿泊先から、いざ CONEXPO へ



ビッグサイズの
揚重機類が、所狭しと展示されている

展示だけでなく
鋼材の据付デモ等も
行われている





8ツ穴フランジが主流
市内現場では、
半々での稼働か・・・



開催される度に
仮設足場材の展示が
減ってきているようで
少し残念に感じましたが
一行の中のメーカー営業マン
開発担当は、写真メモを取り
忙しそうにされていました



足場材を利用して
カタログ類を陳列

当社営業所
来客用ブースに
設置するのも
素敵では？



ハーネス型安全帯

民間工事現場でも
定番として装着
されている様です

係の女性から
体験しませんか？と
誘われましたが・・・

部長と二人 押合い・・・

結果、二人して
NO THANK YOU !

③ ロサンゼルス
アメリカ合衆国 カリフォルニア州

国内では、ニューヨークに次いで人口が多い(976万人)
日本人は、10万人程度 居住しており、夢を実現
活躍されている

非常に広域な為、マイカーは必須
フリーウェイが整備されているが、朝夕の通勤渋滞
環境問題が懸念されており
鉄道のインフラ整備が進む



ラスベガス → ロサンゼルス

我が一行は、専用車にてフリーウェイ(砂漠地帯)を移動 (約 500km)
おおよそ 東京から大阪間を4時間で走り抜けるイメージ

(建設仮設機材レンタル及び販売会社)

Safeway Self Storage Inc. 訪問



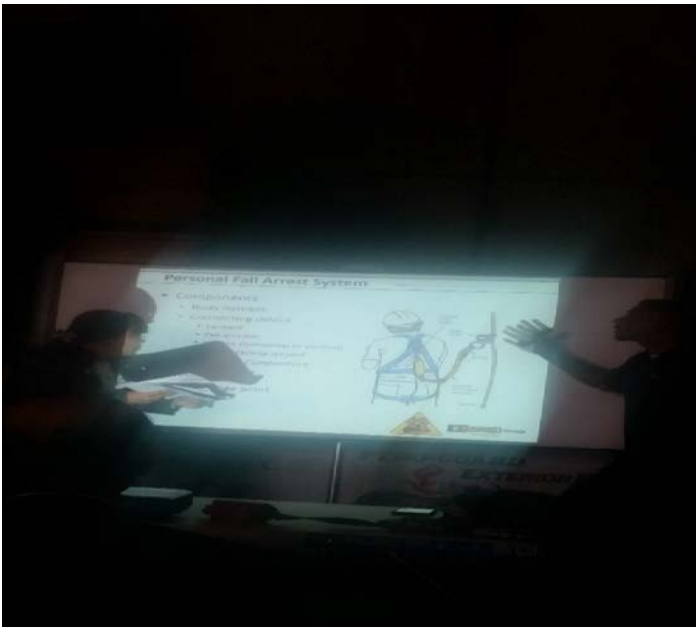
用意して頂いた英字名刺にて
名刺交換をしました

違和感はありませんでしたが
後日、メールを頂いたとして
果たして、返信できるのでしょうか・・・。

届いてから、考えるとしますか・・・。

ヤード見学





安全管理責任者(Kelvin氏)
より、1時間にわたる講義

SAFWAY社の、安全への取組み
(Fall Protection Policy)

Kelvin氏の後に、通訳の方が

120ページにわたる内容
異分野の勉強が大変でした
とのこと・・・
頭が下がります



H1900
W1800

建枠

SAFWAY社は
システム材・枠材ともに保有

限られたヤードには
枠材を縦に保管し
スペースを確保



総じて重く、サイズが大きい
大半、1名での荷造りを行う

(SAFWAY社 材工請負現場 視察)

5号フリーウェイ リニューアル工事

4年間工期の1年目現場・先行床施工式システム吊足場
(クイックデッキ)



Robert氏による現場説明

参加者の中で、取り扱っている
レンタル会社も有り、
反応も様々

部長が請負金額を尋ねてみるが
明確な回答は得られず..
うまくかわされる..



資材置場は、全てフェンスにて
1スパン 4mの仮囲い

目隠しシートをするも
すぐに、スプレーアート？の
落書きをされてしまう

④ ユネスコ世界遺産 グランドキャニオン国立公園 散策

この日は、終日自由行動を頂けた為、
オプションツアーに参加

アリゾナ州北部にある、古い地層では
20億年から2億5千万年前の
地球の地層を見ることが出来る



地殻変動や浸食によって、長い時間をかけて
作られた渓谷

人類の誕生よりも、はるか昔から培われてきた
自然の美しさと雄大さ

スケールの大きな話の為、ただ感嘆するばかり

<視察を終えて想うこと>

【 西 】

この度は、フクムラ仮設の代表として、大変貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

トランプ政権の影響からか、トランスファーに時間がかかりまた、長時間フライトのエコノミークラスには、普段 社用車を使う身には、つらいものがありました。

学生時代は、英国へホームステイ、欧州へ4日間と他に多少の海外経験がありました。 実に11年振りの出国となりましたが、特に心配な感情もなく期待しかありませんでしたが、単語が出てこず、リスニングも満足に行えない自分に対し、残念な気持ちになったことは事実です。

アメリカにおける、足場部材は総じて重く、サイズが大きい為我々、日本人にとって使い勝手の良いものとは言えません。

市内視察現場においては、枠組足場のみであり筋交いの設置はしてあるが、布板の代用で杉板をラップさせていたり、基本的に大雑把な足場が多く記録に残せる足場が無く、残念でした。

しかし、安全帯については低層足場においてもハーネス型を装着しており、人命優先だけは強く感じました。

日本との時差が、マイナス17時間。 就寝前が、日本の夕方となり引き継ぎした現場の確認等、ライン電話を活用することが出来、経費を抑えることが出来る便利な時代になりました。

本来の趣旨とは異なるかも知れませんが、入社11年にして上司と長期間の寝食を共にすることは、初めてでした。

普段とは違う環境に自分を置くことにより、また、上司の仕事感自分の考え方等、多くのことを話せたことも、私には貴重でした。

今回の海外視察を振り返って、大切なのは文化同様相手との違いを認め、そこから何かを感じ取るこそ大切であると実感しました。

日々、自分を見つめ直す瞬間が多々ありました。また、この様な機会があれば ぜひ参加させて頂きたいですし、多くの社員の方に経験して貰いたいと思いました。

最後になりましたが、この様な機会を与えて頂いたフクムラ仮設に感謝します。

【 水嶋 】

思い返せば11年前、荻野相談役(当時 荻野専務)と欧州建設機材視察団に参加させて頂き、ドイツのBAURMAを見学した経験があります。今回の展示会は、西所長の説明にもあったように仮設足場材の展示が少なく重機の展示が大半でした。しかしながら見学者の多さには驚きました。開催期間中(3/7~11)街中いたるところで展示会の入門IDをぶら下げた人たちを見かけましたし、ラスベガスのホテルはこの展示会の為にほぼ満室の状態だったようです。展示されている重機はどれも巨大で、(仮設材もそうですが)アメリカらしさを感じるものでした。もはや小型化とか軽量化とかいう概念が無いのかな？

仮設足場の主流は大きく分けて枠組み(鳥居枠)とシステム(8つ穴フランジ)が半々ぐらいのイメージでしょうか。鳥居枠のH=1900 W=1800 $\Phi=60.5$ にはビックリでした。1枠ゆうに50キロはありそうです。安全に対する考え方は概ね日本と同様ですが安全帯は100%ハーネスでした。

今回、留学経験のある西所長と一緒にという事で会話には困らないだろうと安心していましたが、、、やはりヒアリングが難しい！てなわけでホテルへの帰り道がわからず迷子になっても自力でと、おかげでその日は2万8千歩も歩くことになりました。

アメリカにいて感じることは、接客業に従事する人たちに、日本人の様な「ありがとうございます」や「おもてなし」という気持ちを感じられません。これは、飛行機の中でのCAさんからタクシーの運転手さんコンビニの店員さん、みな自分のペースで淡々と仕事をしているのには驚きました。ただ唯一、来日経験者は日本人の「おもてなしの心」に触れた事があるからか、優しく接してくれました。年々増加する日本への外国人観光客がなぜ感動するのか、それは商品の安心感だけではなく「おもてなしの心」なのではないかと感じました。

今回も1週間にわたる長旅で体力的な心配もありましたが何とか出発前よりも健康体で帰ってくる事が出来ました。また、リース事業部の棚卸しのタイミングや激務の中、留守を守って頂きありがとうございました。今後もたくさんの方に、色々な経験をさせてあげられるフクムラであり続けなければならないと思います。ありがとうございました。

